【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【公開番号】特開2000-161495(P2000-161495A)
【公開日】平成12年6月16日(2000.6.16)
【出願番号】特願平10-334556
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１６Ｊ　15/10
　Ｆ１６Ｌ　23/16
【ＦＩ】
　Ｆ１６Ｊ　15/10　　Ｄ
　Ｆ１６Ｊ　15/10　　Ｃ
　Ｆ１６Ｊ　15/10　　Ｚ
　Ｆ１６Ｌ　23/02　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成15年8月19日(2003.8.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、各種流体の移送機器、流体ろ過機器、流体浄化機器、流体内異物分離機器等の流体の流通又は保有手段（本明細書では、これらの機器に付設される配管等も流体の流通又は保有手段として含む）相互をシール部材を用いて連結する連結箇所のシール方法及び該方法を用いるのに適するシール部材に関する。特に、一般産業排水、上工水、発電用水、ボイラ復水等のろ過に用いられるプリーツ膜フィルタエレメント同士を連結する際に好適な連結箇所のシール方法及びシール部材に関する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
【発明の効果】
本発明の連結箇所のシール方法及びシール部材によれば、少なくとも１つの中間平板を介在させて少なくとも２つのパッキンが積層されているシール部材、若しくはリング状でかつ断面略楕円形のパッキン部を有するシール部材が、連結箇所である流体の流通手段相互又は保有手段相互の接合面に配設されているため、接合面の面間角度γの許容値を大きくすることができる。従って、シール部材が形状に経時変化を起こし易い環境下で使用される場合であっても、十分なシール性を維持できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１０
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１０】

